



国政の課題 2

自民党と民主党は

どこが違うのか？

「自民党にお灸をすえるつもりで民主党に政権を任せてみたけれどもあまりに酷い。かと言ってまだ自民党を信用することができない。そもそも自民党と民主党はどこが違うのか？・・・各種集会で「あいさつをさせていだいたり、企業や地域を回っている」とこのような質問を受けます。

自民党は、『流した汗が報われる社会づくり』を目指しています。そのためにまずは、『自助』努力をお願いします、その次に『共助（＝地域や仲間での支えあい）』そして、『公助（＝国や県、市町村が税金を使って支える）』という考え方を基本にしています。

雨の日に例えれば、「今日は雨が降っていて仕事に行くのが、ちょっと大変だな」という時に自民党は、「傘やカッパが無ければ貸しますので、今日も張り切って仕事に行きましよう！」と自分でしっかり働き、家族を養うことをまずはお願いします。

一方、民主党は、「雨が降っているので今

日は仕事を休みましょう。賃金が入ってこない分は、すべて当方で面倒を見ましよう」というようにバラマキ型の手当て主義です。このように（民主党の目玉施策である『子ども手当』や『高校授業料無償化』などを想定してみてください）努力しても努力しなくても成果が同じであれば、誰が額に汗して真面目に一生懸命働くのでしょうか？

さらにばらまいたお金の出所は、赤字国債！？。「孫子（まごこ）の世代にツケを残さない」と声高に叫びながらさらに借金を重ねているのが民主党政権です。この点が民主党と我が党では大きく考え方や施策が異なります。

また、自民党は、普天間基地移設問題のような外交・防衛の課題に関しても地元沖縄の皆さんを粘り強く説得し、理解をいただきながら解決への努力を続け、沖縄や米国との信頼関係を築いてきました。それを思いつきで覆したのが政権交代後の鳩山首相でした。

さらに菅政権では、地元自治体との意志疎通が悪く、遅々として進まない大震災からの復旧・復興等、違いを挙げればキリがありません。自民党も我々のような働き盛りの世代がしっかりと責任を持って立ち上がり、牽引していきますので、もう一度政権を担うチャンスをご覧ください！

≪ 木内ひとしプロフィール ≫

☆昭和 39（'64）年 8 月 3 日、佐久市生まれの 47 歳。（今年年男！）

☆佐久市立志賀小（現東小）、東中、長野県野沢北高校卒業。地元生まれの地元育ち！  
・高校まで野球を続ける。

☆昭和 63 年 3 月、法政大学法学部政治学科卒業。  
・内田健三先生[共同通信出身の政治評論家]との出会いで政治の道に進むことを決意！！

☆昭和 63 年から平成 5 年まで（財）松下政経塾在塾[9 期生]。  
・地域活性化（まちづくり）について国内、米国で事例調査。

☆平成 5 年から 12 年まで 佐久市議会議員[28 歳から 2 期]。

☆平成 15 年から 23 年まで 長野県議会議員[38 歳から 2 期]。

\* 地域に密着した政治活動を行ってきました！！

○家族は、両親と妻、長男[1 歳] 只今、子育て真っ最中